

第 108 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

I. 日 時：2024 年 5 月 22 日（水）13 時 30 分～16 時 20 分

II. 場 所：機械学会 101・102 会議室 対面+Web 会議

III. 出席：（委員 15 名中、出席者 14 名）

（敬称略）飯田（JERA）、富永（三菱重工業）、三好（川崎重工業）、佐藤（発技検）、
岡（富士電機）、松田（HSB ジャパン）、木村（東芝）、張（電中研）、早川（NIMS）、
関根（IHI）、櫻井（日本電気協会）、堀内（火原協）、羽原（関西電力）、
松尾（日本製鉄）

欠席者：添木（大口自家発）

常時参加者：鎌田（経産省）

オブザーバ：伊藤（IHI）、西田（三菱重工業）、鈴木（三菱重工業）、菊地（IHI）

事務局：中村

IV. 配付資料

108-1 第107回火力専門委員会議事録（案）

108-2 専門委員会・分科会委員案

108-3 第109回規格委員会議事録（案）

108-4-1 材料分科会報告

108-4-2 構造分科会報告

108-4-3 溶接分科会報告

108-5 規格委 No.90 詳細規定第IV章（圧力容器）改訂案の意見対応案のメール審議結果報告

108-6 材料専門委員会書面投票「No.62_J NCF141TB に関する事例規格案レビューの結果報告」

108-7 機械学会規格（JSME）への一般質問回答案

108-8 規格委員会書面投票（メール審議）No.90「規格委書面投票 No.624「発電用火力設備規格詳細規定 第IV章（圧力容器）の 202X 年版改訂案」の意見対応案の承認」の意見対応案

108-9-1 202X 年版基本規定第 1 章及び第 2 章改訂案の火力専門委員会書面投票の提案

108-9-2 202X 年版基本規定 10 章改訂案の火力専門委員会書面投票の提案

108-10 材料専門委員会への火 SCM V28 系鋼の許容引張応力見直しの検討依頼

108-11 JSME 火力専門委員会 2024 年度活動計画案

108-12 J NCF141TB 事例規格案の材専意見対応案

V. 議事

1. 前回議事録確認 [108-1]

前回第 107 回（2/28）議事録（案）の確認を行い一部誤記修正の上、議事録案は承認された。

2. 専門委員会、分科会の委員・役員承認 [108-2]

(1) 火力専門委員会委員の推薦承認

以下の新任、再任委員候補が報告され、出席委員全員の賛成により新任、再任委員候補を規格委員会に推薦することが承認された。

- ・火力専門委員会： （新任） 清水氏、藤田氏、菊地氏
 （退任） 三沢委員、添木委員、関根委員
 （再任） 岡委員

(2)分科会委員・役員の承認

各分科会の以下の退任、新任、再任候補が報告され、出席委員全員の賛成により新任、再任候補が承認された。

- ・材料分科会： （新任） なし
 （退任） なし
 （再任） 伊藤委員
- ・構造分科会： （新任） 湯原氏、菊地氏、羽生氏
 （退任） 西野委員、関根委員、小高委員
 （再任） 茂山委員、井山委員
- ・溶接分科会： （新任） なし
 （退任） 水谷委員
 （再任） 高内委員
- ・配管減肉分科会 （新任） なし
 （退任） なし
 （再任） なし

3. 報告事項

(1)発電用設備規格委員会報告 [108-3]

第 109 回規格委員会（3/13Web 開催）の議事内容のうち、火力及び委員会運営に関連する内容が報告された。

○ 発電用火力設備規格に関する審議

- ・詳細規定 第Ⅰ章（総則）改定案の規格委投票（No.623）の意見対応に伴う修正内容確認及び承認
- ・詳細規定 第Ⅳ章（圧力容器）改定案の規格委投票（No.624）の意見対応に伴う修正案のメール審議（15 日間）の実施承認

○ 火力専門委員会報告（2/28Web 開催）

(2)分科会報告

1)材料分科会報告 [108-4-1]

伊藤材料分科会主査から以下の報告があった。

- ・再任候補のメール審議の実施及び承認
- ・材料専門委員会（3/6 開催）にて J NCF141TB 事例規格案の書面投票システムを用いたレビューで出された意見に対する回答案のメール審議を実施
- ・次回開催は未定、実施は Web

2) 構造分科会報告

[108-4-2]

西田構造分科会主査から第 124 回分科会（5/10 対面＋ Web）の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 基本規定改定
 - ・ 詳細規定の改定内容を反映した基本規定改定案の審議を実施
 - ・ 意見集約後に火力専門委員会の審議事項とすることを了承
- 規格委書面投票（メール審議）No.90（圧力容器改訂案）の意見対応
 - ・ 書面投票の意見に対する回答案の審議を実施
 - ・ 審議内容を反映した回答案を三役確認後に火力専門委員会の審議事項とすることを了承
- 機械学会規格への一般質問回答について
 - ・ 回答案の審議を実施
- 2024 年度 構造分科会活動計画案
 - ・ 火専の活動計画案及び構造分科会活動案の確認を実施
- 次回開催予定日：2024 年 8 月 8 日（木）

3) 溶接分科会報告

[108-4-3]

鈴木溶接分科会主査から第 103 回分科会（4/18Web）の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 202X 年版基本規定 第 10 章改訂案
 - ・ 基本規定において詳細規定第Ⅵ章とⅦ章を読み込んでいる箇所についての変更内容の確認
 - ・ 構造分科会所掌の第Ⅲ章から第Ⅴ章の規定が読みこまれている部分については、構造分科会に確認依頼したことを周知
 - ・ 本日、第 10 章の改定案の書面投票の提案を予定。
- 2024 年度 溶接分科会活動計画
 - ・ 溶接分科会の活動計画案の審議を実施、内容は委員から了承済み

(3) 規格委員会及び材料専門委員会書面投票 結果報告

[108-5, 6]

以下の書面投票議案の結果が報告された。

- ・ 規格委（メール審議）No.90（第Ⅳ章「圧力容器」改訂案の意見対応案の承認
- ・ 材専書面投票 J NCF141TB に関する事例規格案レビュー（可決を必要としない審議）の実施報告

いずれも反対意見はなし。（規格委書面 No.90 は意見対応完了）

4. 審議事項

- (1) 機械学会規格（JSME）への一般質問回答について [108-7]
- STA1-2012 発電用火力設備規格詳細規定(2012 年版)-第Ⅳ章 圧力容器 UG-1
『UHA 等の規定が、発電用火力設備の圧力容器としては使用されることがないと判断し取り入れていないと記載されているが、第Ⅱ章材料の許容応力表ではこれらの高合金鋼が第Ⅳ章に使えるとしているので、使用可能という認識でよいか』との一般質問に対し、「質問者の解釈の通りではなく、詳細規定 UG-1 項に記載の通り高合金鋼は適用外」とする回答案が了承された。
 - 2012 年版_詳細規定 第Ⅱ章（材料）表Ⅱ-1-2 及び表Ⅱ-1-4 許容応力表
「最新版 ASME グレード 91 Type1 材の JSME 許容応力表規定材料との同等性および許容応力値の適用可否」に関する質問に対し、「最新版の ASME と詳細規定で参照している ASME の化学的・機械的性質は同等と解釈できるが、許容引張応力は、JSME の検討結果を反映して見直しを行ったので、許容応力表は同等ではない」とする回答案が了承された。
- (2) 規格委員会書面投票（メール審議）No.90『規格委書面投票 No.624「発電用火力設備規格 詳細規定 第Ⅳ章（圧力容器）の 202X 年版改訂案」の意見対応案の承認』の意見対応について [108-8]
- 西田構造分科会主査より意見対応案の内容が報告された。意見対応案は、書面投票を通して意見者に了承いただいたことが報告された。本意見対応の完了により詳細規定改定案はすべて承認済。
- (3) 火力専門委員会書面投票提案について [108-9-1・2]
- 以下の規格の改定案の提案及び内容説明がされ、火専書面投票実施について了承された。
- 202X 年版 基本規定（第 1 章、第 2 章、第 10 章）改訂案
- (4) 材料専門委員会への火 SCMV28 系鋼の許容引張応力見直しの検討依頼について [108-10]
- 伊藤材料分科会主査より高クロム鋼のクリープ強度及び寿命検証に関する電事連からの情報提供について報告された。概要は以下のとおり
- 電事連内において使用材のクリープ寿命を推定したところ、現行の寿命評価式を下回るデータを確認
 - このため、許容応力及び寿命評価式の見直し及び化学成分範囲の見直しを実施
 - 当該見直し内容について電事連から経産省電安課に対して情報提供を実施
 - 経産省より機械学会に対して技術的な妥当性評価を行うよう依頼があった
- これを踏まえ、材料専門委員会に対して見直した許容応力、化学成分範囲の技術的妥当性の検討依頼することが了承された。なお、材料専門委員会にて他の材料の許容応力見直しが検討中であるが、本件を優先的に検討依頼することを確認した。
- (5) 2024 年度活動計画について [108-11]
- 飯田委員長より火力専門委員会の活動計画案、各分科会主査より各分科会の活動計画案の説

明がされた。また、次回改定に参照する ASME を 2023 年版とすることを確認した。分科会を含めた火力専門委員会の活動計画案は承認され、一部スケジュールの記載について現状を反映して更新したうえで、次回の規格委員会（6/27 開催）にて報告する予定。

(6) 材専書面投票 J NCF141TB に関する事例規格案レビューの意見対応 [108-12]

伊藤材料分科会主査より、材料専門委員会書面投票（レビュー）で出された意見の回答案の説明がされた。本回答案にて意見者に回答することが了承された。意見対応のための原稿案の変更は、編集上の修正と軽微な技術的な修正であることが承認され、意見対応完了後に規格委の書面投票の提案を行うことが承認された。

VI. 次回開催予定

日 時：2024 年 8 月 28 日（水） 13:30～17:00

場 所：Web 方式

以 上